

3D バックスキャナー[®] が公益財団法人日本学校保健会推薦用品に決定

日本臓器製薬（代表：小西龍作）、スペースビジョン（代表：佐藤幸男）および（株）日本医療機器開発機構（代表：内田毅彦、以下「JOMDD」）は、JOMDD で製造販売、日本臓器製薬が販売しております「3D バックスキャナー[®]」（一般医療機器）がこのたび公益財団法人日本学校保健会により日本学校保健会推薦用品に採択されたことをお知らせします。

3D バックスキャナー[®]は人体の背部を撮像し、得られた三次元（3D）画像からモアレ様画像^{*1}を生成する医療機器であり、学校健診の必須項目である「脊柱^{*2} 及び胸郭^{*3} の疾病及び異常の有無並びに四肢の状態」の確認、すなわち脊柱側弯症^{*4} のスクリーニングに用いられる医療機器です。3D バックスキャナー[®]は、学校健診を実施している（公財）東京都予防医学協会からの相談を受け、慶應義塾大学・名古屋工業大学発ベンチャーであるスペースビジョンが JOMDD と共同開発し、日本臓器製薬を販売業者として 2020 年 2 月に販売開始しております。当該医療機器が日本学校保健会推薦用品に採択されたことを受け、日本臓器製薬、スペースビジョンおよび JOMDD は、学校保健の現場における当該機器の普及に努め、科学的根拠に基づく適切な脊柱側弯症検診の実施に取り組んでまいります。

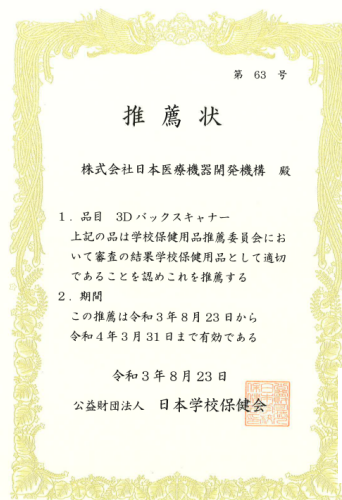
■「3D バックスキャナー[®]」について



販売名：3D バックスキャナー

医療機器届出番号：13B1X10274000004

■日本学校保健会 推薦状・ロゴ



「3D バックスキャナー[®]」は、LED 光源を使用し、被検者背部を 3 次元(3D)撮影し、背部の対称性を視覚的に描出するために、モアレ様画像へ変換することができます。

専用パソコン画面上の撮影ボタンを押すだけで撮影でき、取得した画像情報は撮影場所や個人 ID と紐付けることもできます。取り込まれたデータは、2D のモアレ様画像の他、3D の画像情報としても確認することができます。また、専用キャリーケースに収納することで、学校健診現場で想定される持ち運びも可能です。

■公益財団法人日本学校保健会 令和3年度 日本学校保健会推薦用品

https://www.hokenkai.or.jp/suishou/suishou_youhin.html

■注釈

*1: モアレ様画像とは、背面の凹凸を縞の本数や幅の違いで表した画像です。

*2: 脊柱とは、せぼね（背骨）ともいわれます。背中の真中にあり身体の支柱となる棒状の骨格です。

*3: 胸郭とは、胸椎、肋骨、胸骨がかご状に組み合わさって胸部の壁をつくっている骨格です。

*4: 脊柱側弯症とは、脊柱を正面から見た場合に、左右に曲がっている状態を脊柱側弯症といいます。

脊柱側弯症は小学校高学年から中学校時代に好発し、13～14歳女児の有病率は2.5%¹と報告されています。側弯症による脊柱の変形は、腰痛、背部痛、および呼吸機能障害などを来たすことがあるため、早期に発見し、進行を抑えることが重要であるとされています。

¹Ueno et al. J Orthop Sci 2011

■製品のご注文や資料請求などの問い合わせ先

日本臓器製薬

お客様相談窓口

TEL: 06-6233-6085

(土・日・祝日を除く 10:00～16:00)

■日本臓器製薬 会社概要

代表者:代表取締役社長 小西 龍作

所在地: 大阪府大阪市中央区平野町 4-2-3

URL : <https://www.nippon-zoki.co.jp/>

使いたくなる薬を
より多くの人に
日本臓器製薬